



# 妙教寺だより

第 40 号

平成 28 年 元旦

## 但行 礼拝



平成二十八年

山下火丙申歳

元旦

## 年頭のご挨拶

妙教寺第七世

順信院日薫

荒木英知

### 初頭の宗祖の遺訓

夫れ仏道に入る根本は信を以て本とす。五十二位の中には十信を本とす。十信の位には信心初めなり。たとい悟りなれども信心あらん者は鈍根も正見の者なり。たとい解りあれども信心なき者は誹謗闍提の者なり。

(中略)

しかるを今の世に世間の學者の云く、ただ信心ばかりにて解する心なく、南無妙法蓮華經と唱ふるばかりにてはいかでか愚趣をまぬかるべきと云云。此の人人は經文のごとくなら

ば阿鼻大城まぬかれがたし。さればさせるさとりなくとも、南無妙法蓮華經と唱ふるならば愚道をまぬかるべし。

### (法華經題目鈔)

丙申歳の新春を迎え、年頭にお題目を唱えることができますことは、宗祖は、「一日の命は三千界の財にもすぎて候なり」と教え諭されている通り、「いのちに合掌」し宿福深厚と受けとめまして、謹んで賀詞を言上し、心から御悦び申し上げます。



### 第二期慶讃事業について

ここに、御降誕七九四年目の迎春慶祝をむかえ、全国五二〇〇ヶ寺の日蓮宗寺院において、約三八五万人ともいわれる宗門檀信徒と共に、日蓮大聖人さまに鴻恩に謝し、御遺徳をお慕いする、宗門あげての宗祖御降誕「八〇〇年」の慶節に向けての報恩行として、各種の「慶讃記念事業」や「慶讃法要」が展開奉行されています。

幸い、當山においては、昨年中は、檀信徒の皆様や篤信者の方々より、當山の護持興隆の為や宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃記念事業などのご報恩ご浄財喜捨によって、昨年より、第二期工事にはいり、

本堂御内陣の曲録新調や登高座仏具彩色修復並びに内陣幢幡天蓋仏具移設や本堂正面外階段補修工事（修復中）や境内本堂庫裡水道ポンプ設置工事・防犯カメラ移設工事（慶讃事業委員会より事業報告詳細は別紙）などの改修が終りました。

また、八〇〇年慶讃事業別途の事業関係では、護持会より、檀信徒接待用の業務用大型冷蔵庫の新設などの、ご浄財喜捨や助成を賜り、本年もこれからの諸事業等に対して、皆様方の一層のご支援を頂き、異体同心し、その完遂に向かいたいと存じます。

### 第十三回忌奉行の御禮

尚又、妙教寺中興ノ祖第

五世・元寇園教会第四世・順忠院日貫（英忠）上人がご遷化され、十三年目を迎え、昨秋十一月十五日（日）、當山参道は、ほのかな菊薫る季節、又、ご本堂ご内陣も純白薄紅蘭花の香や蝶の翅に包まるるなか、恩師日貫上人ご生前の御遺徳を偲び、多数の檀信徒の皆様より、知恩感謝のお塔婆を建立してご報恩法要が奉行されました。



順忠院日貫上人の御霊前焼香される参列者の皆さん

御祥当第十三回忌の法要の儀を、當山の副干与人

圓頓寺住職・荒木英人上人、大安寺住職・秋吉英守上人、妙正寺修弟・田中潮成上人、元寇園教会担任・高野英典上人の各聖の式衆出仕を頂き、檀信徒の聖徒の皆様やご信者さまのご列席を賜り、厳修することが出来ましたことは、皆様方のご報恩厚志の賜物と心より御礼申し上げます。

### 十三年間を振り返れば

あれから、小納、精励に心魂を傾け十三年、顧みれば、信徒育成衆庶善導布教の住職の勤めを果たすなか、心を深くして、日貫上人や日賢上人・日英法尼の先師をば往うを追ひ、情を遠くして化を逐えば、追慕の念い、尚、止みがたく、  
① 特に、夙に三寶を尊信

し、檀信徒の病悩を救い、衆苦を癒し、その信望を集め、當山の寺門丹精に於いても、お題目の拠点拡大をはかり、教宣拡張と檀信徒の教化育成に力を注がれた、日英法尼が、平成二十四年六月十七日、油つきて火の消るがごとく泊然として、遷化に遭い、豊橋市大法寺ご住職石橋卓定僧正に御導師を頂き、葬送の

2021年2月16日  
(平成33年)

宗祖日蓮大聖人  
御降誕 800 年

儀を奉行し、聊か坊守に対する報恩の誠を奉げる勤めを果たすことができました。

次に、② 慶讃第二期記念事業を推進するため、平成二十六年五月、「総本山身延山久遠寺」「七面山」や諸本山へ、三十二名の聖徒のご参加で、霊山浄土へ赴く契を結ぼうと懇願しながら、慶讃記念事業の円成や信行の研鑽成就と菩薩道を求める有り難い報恩参拝を奉行すること出来ました。

亦、③ 平成二十七年一月に、妙教寺嘱託職員高野英典師は、宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃記念の乙未歳の中期慶節を契機に、元寇園教会第六世の担任に就任されましたことなど、正しく師範日貫上人

の薫陶によるものと深謝するものであります。

更には、④ 近年、葬儀、墓、お寺の三離れが深刻で、そうした人と人の関係が急激に希薄になっているといわれていますが、寺門においては、新たに十七軒の納骨堂お霊屋を取得された護持会会員のお檀家さまが増えたことや、また、今般、平成二十四年五月よりご寄進の勧募を開始しました、妙教寺の御降誕八〇〇年慶讃記念事業などを目指し、檀信徒の皆様のご支援を頂き、只今、教宣拡張の布教活動を推進するところの現況を、読経ご回向でご報告申し上げます。日貫上人の甚深なるご遺徳の賜と存じております。

### 仏道に入る根本とは

さて、巻頭の宗祖日蓮大聖人さまの御遺訓を要約すれば「仏道に入る根本は、信心をもつて最も根本とする。仏道修行の上で悟りに到達するまでの順序を示され、その出発点とし、十信の位のなかでは、信心が一番はじめなのである。故に、たとえ経文の意味や教えを理解出来なくとも、信心のある者は鈍根であつても、正しくものが見える者といえる。反対に自分分は理解できたと思つている者でも、信心のない者は、仏になるべき種が断たれ、決して成仏できないのである。」と説示されています。また、その証しに、ご本仏釈尊が唯一乗法の法華

経の涌出品で「疑いを生じて信じない者は、すなわち必ず愚道に墮ちる」等と有解無信の者について垂示されているように、仏教、ことに法華経・お題目信仰のなめは絶対なる信心を専心することが肝要なのです。

寿量御本仏釈尊が御説になられた「法華経の南無妙法蓮華経」を信ずる心を持たない者の知恵は、いくら優れているように見えても所詮はごさかしき凡夫の知恵に過ぎません。

### 恩得を心肝にそみて

私たち聖徒は、深く信心を起こして、佛知見をもつて境涯を開き、智慧を磨かなくてはなりません。

さらに、御本仏さまや日



蓮大聖人さまの恩徳を心肝にそみて、「**深く信心を発して日夜朝暮に磨くべし**。」と一生成仏抄に説かれてい  
るように、自らのお題目を信じる力が仏智を生み育て、人生を照らしてくれるのです。

本年こそ、お題目の信仰に導いて下された、日蓮大聖人さまの弘教の志をたもち、その志を未来に伝え続けんと、我も「弘通の人」となることを誓い、そして、内にては、我慢偏執の心をなくして、現世安穩・後生善処を求めては「お題目」を受持し一心に唱えることこそは、宗祖が、「**法華経を語り申さんものは、教主釈尊の御使なり**。」（四条金吾殿御返事）とご教示されているように、仏子の自覚をもつて、教主釈尊の御使とし

て「聖徒の本分」を尽したいと存じます。

さらに、聖徒の人材育成を目指し、家庭や地域社会へ、お題目を唱える人々の和を、大きく広げるお手伝いをしていくことこそ、日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃記念で、日蓮宗宗門が提唱するところの、「お題目総弘通運動」の意義であります。

今年も、受け難き人身、値い難き仏法に遭い合えたことに感謝し、積功累徳をかさねて護法護持のため、檀信徒聖徒各位の一層のご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。南無妙法蓮華経

一心合掌

開運星祭り・守護神祭  
施餓鬼会・福引き大会

来る、正月十一日（成人の日）、當山では、「開運星祭り・守護神祭」や「年始お施餓鬼供養会」並びに「福引き大会」が奉修されます。

たとえ忙しくとも必ずご家族で参詣するよう心がけて、皆様と共に、ご先祖様へ積善の功德を送り報恩のまことをささげたいと存じます。

尚、日々のお参り必携の妙教寺檀家袈裟・念珠と経本・行衣（経帷子）など着帯しご参拝下さい。

當山

福引特別賞品

提供についてのお知らせ

※ 当日、「初春福引大会」をいたします。

※ 例年の通り賞品を募集いたしますので、ご提供下されば幸いです。

※ 尚、賞品は、個人名・企業名を發表いたし特別賞とします。

※ ご提供の賞品は、都合上、前日までお届け下さい。

※ ご提供者の方は、前日までご一報頂ければ参上いたしお預かりいたします。

妙教寺護持会  
妙教寺婦人会  
妙教寺信行会

# 各会より挨拶

護持会会長・筆頭総代

古賀 静枝

謹んで

新年のお慶びを  
申し上げます



檀信徒総会で挨拶される  
古賀静枝 護持会会長

昨年は護持会の各行事に御参加、御協力くださいまして心より御礼申し上げます。

私達はお題目の教えを

柱に毎日を過ごしています。

お題目をお唱えしていると、いつもお祖師様がそばに居て私達を見守って下さっているのを感じます。色んな事をお願いしなくても、全て私の心の中を知って下さっているように感じます。

この信仰を与えて頂いたご先祖様に感謝し、導きご指導下さった亡・御前様（日貫上人）や亡・奥様（日英法尼）にも心より感謝申し上げます。合掌。

昨年、十一月十五日に日貫上人の十三回忌の法要が営まれました。報恩のお題目をお唱えしているとご生前の御前様の事が思

い出されました。亡くなられる五か月ほど前、お弟子になられる英典上人と共に朝早く月回向でおいでになり、にこにこしながら「三十年ぶりに来たね！」と言って三十分ぐらいゆつくりとお茶を飲みながら話していかれたのを、ついこの間の事のように思い出されました。その当時、御前様はほとんど元寇園教会に従事されておりました。

法要中、一生懸命お題目をお唱えしていると目の前が明るくなり、元寇園教会を、妙教寺同様よろしく頼むと云ってある様で、思い知らず「頑張ります」と云いました。

この十三回忌と云う大きな節目を会長としての立場で迎える事ができま

したのも深いご縁があったのはもちろんの事、檀信徒の皆様の温かいご支援の賜物と感謝申し上げます。今後とも老体に鞭打ち精一杯努めてまいります。本年も何卒皆様方にはご協力賜りますようお願い申し上げます。  
南無妙法蓮華經

## 護持会より

### ◆護持会費納入について◆

月 額 1,000円

一年間 12,000円

会費納入はいつでも受付けています。

問合せ 092(581)1266

婦人会会長

植村 徳

新年あけまして

おめでとうございます

昨年は當山の婦人会会長に就任させて頂いたものの、何かと行き届かない事の多い中、檀信徒の皆様には御協力を頂き心から感謝申し上げます

昨年十一月十五日に順忠院日貫上人の十三回忌を終え、御前様が亡くなられ十二年の歳月が流れたのだと思った時、日々の流れの早さに驚いております。

私も家族も妙教寺にご縁を頂き、早二十五年になります。亡御前様、奥様をはじめ現住職上人、また、お寺内務のお上人様方に

は色々な事をお教えいただき、有難く思っております。



婦人会主催寒修行に参加されている植村会長（手前）

『懺悔文』の一節「幸いなるかな、我等一分の宿福あつて遭いがたき妙法に遭いたてまつり、法界の霊主、壽量佛の御前に跪きて、深く懺悔滅罪の念を生ずことを得たり。云々」と読み上げながら、南無妙法蓮華經によつて現世安穩はあるのだと心から信じお唱え出来る日々を幸せに思っております。

又、長い間お世話になりながら、昨年十一月十七日、初めて妙教寺別院である元寇園教会に「芋掘り会」に合わせお参りさせて頂きました。本堂に座り合掌をしながら御前様は晩年ここで法華經の道場を建設することを目指し日夜奮闘なさつておられたのだなと思い、感慨無量の気持ちになりました。

昨年一月より元寇園教会の担任として御前様のお弟子であられる高野英典上人が就任されておられます、今年は皆様とご一緒に出来るだけ多くお参りをさせて頂きたいと思っております。

今年も色々な行事がありますが、皆様方には昨年同様ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



建設業

早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有) 臼井組

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9

TEL 092-932-7397



妙教寺、並びに元寇園教會の興隆と檀信徒の皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

尚、来る一月十七日は、婦人会主催の寒修行が行われます、皆様と共に信行にはげみ、有意義な唱題修行の一日にしたいと思います、皆様の御参加をお待ちしております。  
南無妙法蓮華經

信行会会長

松尾 勝次

明けまして

おめでとうございます

新年を迎え檀信徒の皆様には健やかなお正月をお過ごしのことと思います。



檀信徒総会で挨拶される  
松尾会長（手前）

平成二十七年信行会々活動も皆様方の御理解と御協力を賜り無事終了することが出来ました。ありがとうございます。

さて昨年十二月二十日（日）年末総供養会終了後、恒例になりました信行会主催による特別講演を行いました。講師として、長崎県佐世保市、大光寺山主大野光法上人をお迎えし御法話を頂きました。

まず、ご自坊にお見えになった千ヶ寺参りをされ

ている日蓮宗信者の方の信心について、続き、中国哲学の陰陽道の太極図を用いて宇宙の本体万物は対立によって成り立っている事等のお話を様々な喩えを交えお話を頂きました。



信行会主催特別講演に於て  
ご法話を頂いた、佐世保市大光寺  
御山主大野光法僧正

当日は年末総供養施餓鬼会ということもあって多数の皆様方に御聴聞を頂き、盛会のうちに終了いたしました。

信行会では本年も昨年同様、皆様方と共に、日蓮

宗徒の心得として、日蓮聖人の御教えを学び、自らのものとして信仰生活に取り入れ、又、布教に努めていきたいと考えております。檀信徒の皆様には、どうぞお気軽にご参加いただきますよう、会員一同お待ちしております。

※活動は月一回第一日曜日、月例祈祷祭終了後午後十二時より約一時間の予定で開催しております。会費無料、ただし写経の月は初めてのの方は資料代として多少のご負担を頂きます。

内容として、御住職上人をはじめ寺内各上人様の法話、お経の練習、仏事作法、写経、DVDによる法話会など各種活動を行っております。

合掌

宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年

## 慶讃記念事業について

事業担当長

臼井 義光

●今後予定されている事業

- 一、宗門（宗務院・宗務所）宗祖御降誕八〇〇年慶讃勸募金（課金）支援（今後）

### ◆第二期事業

追加工事について

### ●工事内容

- 一、本堂内陣・曲録新調、登高座仏具彩色修復並びに内陣幢幡天蓋仏具移設工事（終了）

- 二、本堂二階・内陣幢幡天蓋仏具移設に伴い防犯カメラ移設工事（終了）

- 三、境内本堂庫裡水道ポンプ設置工事（終了）

- 四、本堂外階段修復工事（本年一月着工）

- 二、徒弟教育の支援（未定）

- 三、山門入口・駐車場入口段差補修工事（未着工）

- 四、庫裡三階リフォーム工事（未着工）

後少々期間がかかると思いますが、御理解・御協力の程よろしくお願い申し上げます。

宗祖御降誕八〇〇年

慶讃記念事業委員会

### 登高座修復他一式



本堂内陣天蓋・幢幡移設工事

記念事業追加工事照会



## 本堂2階防犯カメラ移設工事



本堂大掲示板上カメラ



本堂入口上カメラ



交換後の  
庫裡水道ポンプ



本堂外階段・鉄筋の腐食により  
はがれ落ちたコンクリート



交換後の  
境内井戸ポンプ



拝む心で尊い品を

# 梅谷佛具店

仏壇・仏具・寺院用具寺院納骨堂設計施工



**本店** 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9  
TEL (092) 271-0456 • FAX (092) 271-0464

**工場** 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4  
TEL (092) 806-7499 • FAX (092) 807-1079

# 元寇園教会より

元寇園教会担任

高野

英典

謹んで新春の

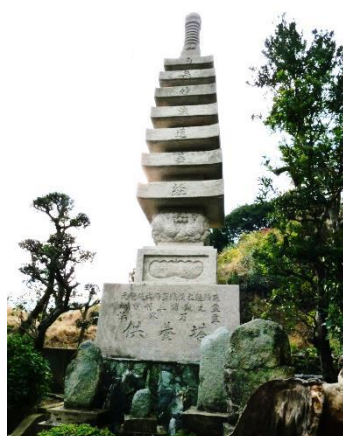
お慶びを申し上げます

昨年一月に當教会の担任に就任し、早、一年が経ちました。

この一年間、妙教寺の檀信徒の皆様には公私共に大変お世話になりました。元寇園教会は、以前妙教寺だより二十二号にも記載しておりましたように、今から約七四〇年前に起こった元寇の役（蒙古襲来）で亡くなられた彼我両軍殉難者をはじめ先の大戦で亡くなられた戦没者等、

数多くの霊を弔う為に建立された法華経供養霊場です。

元寇の役・彼我両軍の殉難者他数多くの霊を祭る万霊供養塔



本堂の建立が昭和四十年でその後二回にわたる増築がなされました。最初の建立より今年でちょうど五十年が経ちました。しかしながら今では老朽化が進み、また、先（平成十七年三月）の福岡西方沖

地震や白蟻被害により内外各所の痛みが見られる現状です。本年の目標はそうした部分を少しずつですが有志者方のお力をお借りしながら家族と共に、元寇園教会の「日蓮聖人御降誕八〇〇年記念事業」として復旧に努めてまいりたいと思っております。妙教寺の檀信徒の皆様には妙教寺別院としてご理解ご協力を頂き、お見守りいただきたいと存じます。

※元寇園教会行事（本院の行事と重なった場合は変更有り）

- ・ 基本的に毎月十七日・二十三日は施餓鬼供養
- ・ 六月・さつま芋の苗植え
- ・ 十一月・芋の収穫
- ・ その他、不定期に野菜等の農園作業（週に一〜二度）

尚、ご参加（お参り）を希望される方はお気軽にご来院下さい。車にて送迎させて頂きます。

又、直接お参りされる方は留守をしている場合がありますので、妙教寺までお電話ご連絡をしてご確認ください。

## 元寇園教会の位置図





# 日蓮大聖人のおことば ⑮

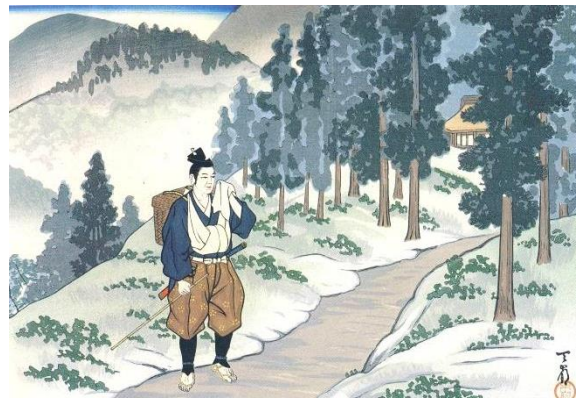
## ときあまぎぜんごしよ 富木尼御前御書

やのはしる事は弓のちから、  
くものゆくことは  
りう（竜）のちから、  
をとこのしわざは  
女（め）のちからなり。  
いまときどののこれへ  
御わたりある事、尼ごぜんの  
御力なり。

（建治二年 聖寿五十五歳）

### 現代語訳

矢が飛ぶのは弓の力によるものですし、雲が行くのは竜の力によるものです。そのように、夫の行ないは妻の力によるというのが人の世の習いです。いま富木殿が、この山深い身延の里までおいでくださったことは、ひとえに妻であるあなたのお力によるものと感謝いたします。



阿仏房夫妻の子、遠藤盛綱もまた佐渡より亡父（阿仏房）の遺言により遺骨を埋葬する為身延へと赴いた。（御一代記より）

日蓮聖人の有力な大檀越である富木五郎常忍氏がこの年二月死去した母尼の遺骨を奉じて、身延の聖人を訪れた時、その富木氏に託した病床の尼御前を慰諭された書状。

内容はまず尼御前が夫を助け、姑に仕えた労をいたわり、その功を讃嘆し、強盛の信心に安住すれば病も平癒するであろうと数々の譬えを挙げて激励される御書です。

えてして私達は目に見えないものに支えられ、守られていることには気付かないものです。仏祖三宝妈のお姿は像として見えても、そのご支配下さっていること、ご先祖さまや両親の存在は知っていてもその恩恵を受けていること、御遺文で示してあるよ



うに妻の姿は日々目に  
 いてても、その影での内助  
 の功にはなかなか気が付  
 かないようです。

周りの全てに感謝の気

## 投稿欄



持ちを忘れずに合掌の心  
 で毎日を過ごしていきま  
 しょう。

日蓮宗事典

日蓮宗電子聖典 参考

## 師走年瀬

護持会会計  
 事業担当補佐

三好 康昭



昨年十二月二十日、當山  
 総供養施餓鬼会に合わせ、

信行会主催の特別講演で、  
 佐世保市の大光寺御山主  
 大野光法僧正の御法話を  
 拝聴させて頂きました。

千箇寺参りをされている  
 方の話の中で、「もっと  
 早くから信心をしておけ  
 ばよかった。」と、その方  
 が言われ、それに対して大  
 野光法僧正は、「信心に早  
 い遅いは関係なく、どんな  
 信心をするか。」とおっし  
 やったそうです。私も、そ  
 うだと思えます。また、信  
 心とは人から言われて、気

が付いてするものではな  
 く、自分で自らが気が付き  
 心から進んでするものだ  
 と思います。幸い、有難い  
 ことに私は、信心が厚い家  
 柄に生まれ、その環境に恵  
 まれ育ち、自ずと信心に対  
 する心根ともいいましょ  
 うか。自然に身についてお  
 り、両親を始め御先祖様に  
 大変感謝しております。

利益＝信心となってい  
 るようでございますが、確  
 かに人間は欲が深い生き  
 物です。でもだからこそ、  
 魂を修行させ成長させる  
 輪廻転生をするのでしょ  
 う。そして、なぜ人は信心  
 をするのか、それは自分を  
 律するためにするのでは  
 ないかと、まるで自分の姿  
 を鏡に映す如く。そして、  
 日蓮大聖人様、大黒様、鬼  
 子母神様の多くの仏様は



**株式会社 松下仏壇店**

熊本店／熊本市上水前寺1-12-12 (東パ・イ・ス熊工前)  
 玉名店／玉名市中1832 (玉名高校前)  
 山鹿店／山鹿市大橋通り404  
 本店／大牟田市上町2-2-4 (上官通り)

096-384-5666  
 0968-74-4840  
 0968-43-5665  
 0944-56-3675

<http://www.matusita.net>

心と心のふれあいを大切に



お安い費用で、お仏具修復



**熊本店**



我々にお姿を御見せになられております。そう、仏像として。この仏像を大切にお守りする尊ぶことも信心に大切だと、大野光法僧正のお話をお聞きして、そう考え思いました。



大野上人の法話に聞き入る  
檀信徒の皆さん

「妙法蓮華経」の言葉の意味を説かれる時に、陰陽道の話をおり込まれておられました。私は中国で陰陽について、一年に一度中国に足を運び学んで参りました。陰陽のバランス、陰陽五行説。懐かしいも

のです。その他の事もですが、一年の終わりに本当に貴重な御法話をお聞きしました。多忙な日々の中で、すっかり忘れてしまった事柄を思い出させていただき、来年の年を心新たに迎えられるそうです。  
大野光法僧正様心より  
感謝申し上げます。

合掌

## 晩秋の芋ほり

南区那の川 本田 準子

下田 京子

晩秋十一月十七日、小雨の中で芋掘りが行われました。お寺さんのお声かけで総勢二十名のお檀家の皆様が志賀島の海の見え

る元寇園教会の小高い丘の芋畑に集合。辺り一面森葉の樹林と竹笹に囲まれ、秋の気配も薄らいだところでの芋掘りで蔓の刈り取られた芋首の近くの畝



小雨の中、芋ほりを楽しむ  
参加者の皆さん

に鍬を入れ、一起こしすると赤茶色の大小の芋達が顔をもちげ、今日は!!...と：あった!!...次は：次は：と子供の頃芋掘りをした想い出と重なり合わせ歓喜の声をあげ希望と気炎で皆満ちていた。小雨の中の楽しい一時の芋

掘りに時を忘れた晩秋の勘当にあふれた楽しい芋掘りでした。



軽トラックいっぱい収穫された  
サツマイモと参加者の皆さん

## 編集部より

妙教寺だより編集部では、皆様からの投稿を、募集致しております。内容はお寺の行事についてまたは、体験談や疑問質問などよろしく願っています。



# 仏事作法

## 〔普賢三宝荒神〕

當山修徒 高野 英一

當山では、例年一月の星祭りにおいて新しい御札の受け渡しを行っております。

その中で、特に多くの方がお求めになるのが普賢三宝荒神札（台所）と烏枢沙摩明王札（お手洗）の二つですが、今回はそのうちの普賢三宝荒神様について説明をしたいと思います。

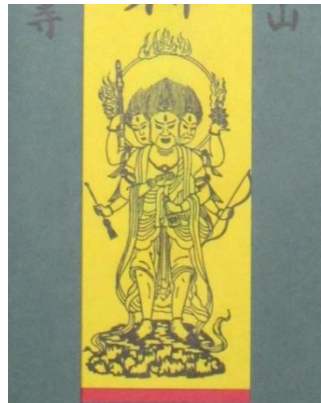
普賢三宝荒神は、お札の内側の黄色い紙に描かれている神様で三つの顔に六本の腕を持ち、髪を逆立てた恐ろしい顔をしていらつしやいます。これは不

浄や災難を決して見逃さず払うという心の現れです。

① 當山からお渡しする  
普賢三宝荒神札



② 普賢三宝荒神様の拡大図



火と竈をつかさどる神様として信仰されており、仏壇ではなく家で最も清浄とされる台所に神棚を設けてお祀りされるのが一般的です。神棚が無いお宅でも台所の壁にお札を貼り付けてお守りいただ

いている所が多いです。

また、日蓮宗では普賢三宝荒神の名の通り普賢菩薩のお姿の一つとして扱われ、普賢菩薩は法華經の最後の章『普賢菩薩勸発品』において、「末法に法華經を受持する者を守護し、いかなる魔もその魔手をのばすことができないようにし、またこの經を誦誦すれば六牙の白象王に乗って行者の前に身を現わそう」と、私も末法の世において法華經を信仰する者達を守護すると誓願を立てられております。

御札を自宅に持ち帰られましたら、ぜひ台所にお祀りいただきまして今年一年の家庭の安穩をご祈念頂きたいと思ひます。

参考資料 日蓮宗事典



**スマイル車校**

**民間車検工場**

**井上自動車株式会社**

**福岡市博多区麦野 1-1-38**

**TEL : 092-581-4607**

**FAX : 092-581-4796**





# 行事スナップ



11 月中旬 花を咲かせてくれた菊鉢。私達の心を癒してくれました



10/18 お会式法要後、唐津市龍王寺副住職 福山浄瑠上人の法話を頂きました



10/11 お会式桜作り  
各会役員並に檀信徒有志の方約 20 名の参加がありました



12/20 年末総供養会  
信行会主催特別講演 本年は佐世保市大光寺御山主 大野光法僧正よりご法話を頂きました



11/17 元寇園教会唐芋収穫祭。今年は約 20 名の役員有志の方が参加されました



11/15 順忠院日貫上人  
第 1 3 回忌法要奉行

福岡・冬限定販売

## 当店おすすめ商品 「莓ひよ子」

莓ひよ子 7個入



価格 1,080 円  
(本体 1,000 円)

莓ひよ子 11個入



価格 1,620 円  
(本体 1,500 円)

地方発送承ります



ひよ子の愛らしい形をそのままにあまおう莓入りの餡を包んだ冬限定の「莓ひよ子」です。

**名菓ひよ子** イオン大野城店  
大野城市錦町 4 丁目 1-1 イオン大野城 1 階  
TEL・FAX 092-592-2126

檀信徒様のお買い上げは、当店に限り **10%** 引きとさせていただきますので、ご気軽にご来店下さいませ。お待ちしております。

# 平成28年行事予定(1月～8月)

◎1月17日(第3日曜)

午前10時より

・婦人会主催寒修行

◎2月7日(第1日曜)

午前10時より

・月祈禱祭、節分追儺会

◎2月28日(第4日曜)

午後1時より

・月施餓鬼供養会

◎3月6日(第1日曜)

午前10時より・月祈禱祭

◎3月17日(木)～23日(水)

早朝より

・春季彼岸棚経廻り

◎3月27日(第4日曜)

午後1時より

・春季彼岸施餓鬼供養会

◎4月3日(第1日曜)

午前10時より・月祈禱祭

◎4月10日(第2日曜)

午後1時より

・花まつり 釈尊降誕会

・月施餓鬼供養会

◎5月1日(第1月曜)

午前10時より・月祈禱祭

◎5月29日(第5日曜)

午後1時より

・月施餓鬼供養会

・各家勧請守護神祭

・平成28年檀信徒総会

◎6月5日(第1日曜)

午前10時より・月祈禱祭

◎6月26日(第4日曜)

午後1時より

・月施餓鬼供養会

◎7月3日(第1日曜)

午前10時より・月祈禱祭

◎7月24日(第4日曜)

午後1時より

・土用丑秘法ほうろく灸

・祈禱会

・月施餓鬼供養会

◎7月31日(第5日曜)

午前9時より

・盆前大掃除

◎8月7日(第1日曜)

午前10時より・月祈禱祭

午後12時より

・三沢清正公堂大掃除

◎8月8日(月)～15日(月)

早朝より

・盂蘭盆棚経廻り

◎8月21日(第3日曜)

午後1時より

・盂蘭盆施餓鬼供養会

・順正院日賢上人

・第十七回忌法要

※行事予定日・時間は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送します案内でご確認下さい。

◎毎月第1日曜日は

・信行会 (12時より)

(1月・8月は

諸行事の為休みます)

・12月の信行会は特別講演となります

・三沢清正公堂お参り (午後より)

## 《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに  
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。  
※詳しくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目二番一七号

春日山 妙教寺

〇九二(五八二)一二六六